

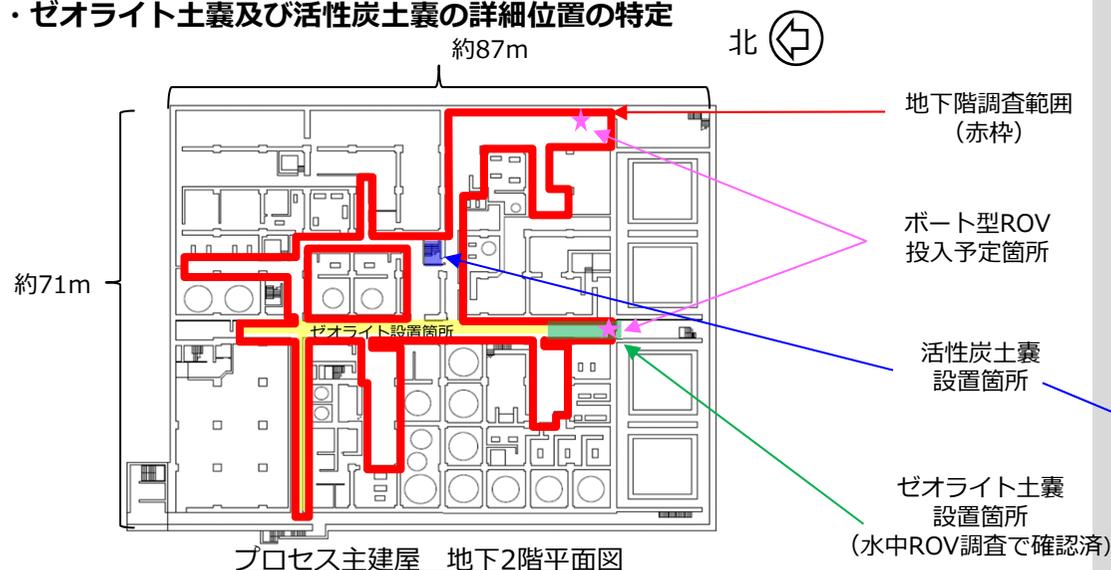
福島第一原子力発電所 建屋地下階のゼオライト土嚢等処理に向けたボート型ロボットでの調査作業開始について（続報）

< 参 考 資 料 >
2021年7月26日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 高温焼却炉建屋及びプロセス主建屋の地下2階に設置された高線量のゼオライト土嚢等については、滞留水がある状態で土嚢等を回収してから、滞留水の水抜きを行う順番で処理する方針で検討を進めています。
- 2021年5月20日～28日まで、高温焼却炉建屋にボート型ROVを投入して調査を実施しました。当初予定していた調査範囲よりも広範囲の調査を実施し、今後回収作業に大きな支障となる干渉物がないことや、土嚢の正確な位置と数を確認することができました。（2021年6月24日までにお知らせ済み）
- 本日（7月26日）から、プロセス主建屋において調査の準備作業を行い、同27日から、ボート型ROVを投入した調査を開始予定です。調査結果については、とりまとめ次第お知らせします。
- ゼオライト土嚢等の回収着手（2023年度中目途）に向けては、技術の信頼性が高いと考えられる水中回収工法の検討を進めていますが、広大な回収範囲への適応や、劣化した土嚢袋への対応等、特殊な状況にも留意しながら、今後具体的な検討を進めてまいります。

【今回の調査内容】（2021年7月26日～（約2週間目途））

- ・ゼオライト土嚢周辺エリアの状況の確認
- ・エリアの線量測定
- ・ゼオライト土嚢及び活性炭土嚢の詳細位置の特定



【調査実施済み：2021年5月20日～28日】

調査予定範囲 調査実績

